

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)

【公開番号】特開 2004-196817 (P2004-196817A)

【公開日】平成 16 年 7 月 15 日 (2004.7.15)

【年通号数】公開・登録公報 2004-027

【出願番号】特願 2004-41767 (P2004-41767)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 K 51/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 Z N A E

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 K 43/00

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の (a) または (b) からなるポリペプチド：

(a) 配列番号：22 で示されるアミノ酸配列からなるポリペプチド、

(b) 配列番号：22 で示されるアミノ酸配列において、1 若しくは数個のアミノ酸が欠失、置換または付加された改変されたアミノ酸配列からなるポリペプチドであって、且つユビキチン結合活性を有するポリペプチド。

【請求項 2】

以下の (a) または (b) の DNA 配列：

(a) 配列番号：23 で示される塩基配列からなる DNA 配列、またはそれらの相補鎖、

(b) 上記 (a) の DNA 配列と、0.1×SSC/0.05%SDS、50 の洗浄条件でハイブリダイズし、且つユビキチン結合活性を有するポリペプチドを発現可能な DNA 配列。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の DNA 配列を含有する発現ベクター。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の発現ベクターを含有する形質転換体。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の形質転換体を培養し、ユビキチン結合活性を有するポリペプチドを採取することを特徴とするユビキチン結合活性を有するポリペプチドの製造方法。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の製造方法によって得られる組換え体ポリペプチド。

【請求項 7】

請求項 1 に記載のポリペプチドまたは請求項 6 に記載の組換え体ポリペプチドに結合する抗体。